

平成23年度 当初予算 (案)

主な事業の説明書

教育委員会 (教育施設関係)
(社会教育関係)

款 項 目 大 事 業	ページ
10 2 1 14 (新規) 統合小学校整備事業費	8 - 1
10 2 1 15 (新規) 学校施設耐震化事業費	8 - 2
10 5 2 12, 50 芸術文化振興費、生涯学習推進費負担金	8 - 3
10 5 2 13 放課後子ども教室推進事業費	8 - 4
10 5 2 14 学校支援地域本部事業費	8 - 5
10 5 4 13 親と子の夢を育む読書活動推進事業費(光基金分)	8 - 6
10 5 5 17 (新規) 大仙市大曲新人音楽祭コンクール開催経費	8 - 7
10 5 6 17 旧池田氏庭園整備事業費	8 - 8
10 5 6 21 鈴木空如資料調査研究事業費	8 - 9
10 6 1 13 全県500歳・550歳野球大会関係費	8 - 10
10 6 1 16 平成23年度インターハイ開催推進事業費	8 - 11

事 業 説 明 書

(計画の体系) 学校教育の充実

10 款 2 項 1 目 14 事業

新規 ・ 継続

課所名 教育指導部教育総務課
(施設管理課)

<p>【事業名】 統合小学校整備事業費</p> <p>【説明項目】 統合小学校整備事業について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【23年度】 181,994 千円 【22年度】 0 千円 【増減額】 181,994 千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>良好な教育施設を提供することにより教育環境の向上を図ることを主たる目的とし、安全・安心な学校づくり交付金事業として西仙北地域統合小学校（現在の刈和野小学校）の増改築等整備を行う。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>急激な少子化により学校の小規模化が進んでいることから、学校規模の適正化や教職員配置基準等の検討により、学校統合が急激に加速している。良好な教育施設を提供することにより教育環境の向上を主たる目的とし、統合後の児童数増加に対応することができるよう教室等の増改築や関連する整備により、充実した学習の場を提供する。</p> <p>【目標数値】</p> <p>協和地域6小学校の統合に続く整備で、西仙北地域4小学校、神岡地域2小学校、南外地域2小学校が24年度に統合され、それぞれ地域に1校の小学校となる。だいせんビジョンの小学校規模適正化参考例により32年度までに市内9校の小学校に整備する予定である。</p>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>平成24年4月の開校予定の西仙北地域4小学校（刈和野小・181名、土川小・74名、大沢郷小・39名、双葉小・63名、合計357名）の統合により各学年2クラス及び特別支援学級、数クラスとした場合、現在の刈和野小学校11教室で不足する3から4教室等を増改築する。内訳としては、既存の特別教室を普通教室等に改修（403,75㎡）新たに特別教室等を増築（471,75㎡）また、職員室の拡充に伴う改修（75,375㎡）保健室の一部増築（25,50㎡）関連する外構工事を予定している。</p>														
<p>4. 事業の費用対効果</p> <p>複式学級の解消と適正な学校規模を確保・維持することで学習効果を高め学校活力の維持・向上が期待できる。</p>														
<p>5. 事業の将来負担等</p> <p>統合により廃校となった校舎等について、速やかに解体ができれば将来負担の軽減につながるが、別に利活用を考えた場合、法定検査他最低限の維持管理費は発生する。</p>														
<p>6. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 15%;">その他</th> <th style="width: 30%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">181,994</td> <td style="text-align: center;">60,965</td> <td style="text-align: center;">110,400</td> <td></td> <td style="text-align: center;">10,629</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	181,994	60,965	110,400		10,629
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
181,994	60,965	110,400		10,629										

事 業 説 明 書

(計画の体系) 学校教育の充実

10 款 2 項 1 目 15 事業

新規 ・ 継続

課所名 教育指導部教育総務課
(施設管理課)

<p>【事業名】 学校施設耐震化事業費</p> <p>【説明項目】 学校施設耐震化事業費について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【23年度】 99,225 千円 【22年度】 0 千円 【増減額】 99,225 千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>震度6強以上の大規模な地震災害発生時に児童生徒の安全を確保し、防災計画に指定された地域住民の応急的な避難所としての役割を果たすことを目的とする。</p> <p>法に基づいて新耐震基準が施行された昭和56年以前に建築された非木造で1棟当たりの延べ面積が200㎡超の学校施設を対象に、構造的な耐震性能を診断した結果に応じて耐震化の必要な棟を補強工事する。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>平成20年度から実施してきた学校施設耐震化事業も、23年度を最終年度として大曲小学校校舎棟及び第2屋内体育館棟を残すのみである。継続費の議決予算に基づき22年度Ⅰ期工事、23年度にⅡ期工事の完了を目指す。</p> <p>【目標数値】</p> <p>耐震補強工事対象学校施設契約数30－耐震補強工事完了数29 →残り1契約(うち23年度年割51%)23年度実施により事業達成(100%) ※診断結果によるIs値や棟別の分類により契約件数と補強校(21校)とは乖離する。</p>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>耐震化優先度調査や一次診断結果に基づき、構造耐震指標であるIs値が低いと予想される建物を優先した「学校施設の耐震診断実施計画書」を平成20年度に策定したが、国の指導や補助を活用しながら計画の一部を前倒しし、学校施設の耐震二次診断(第Ⅰ期～第Ⅲ期)を21年度で完了させた。</p> <p>この耐震二次診断結果に応じた補強工事について、第Ⅰ期分は21年度の安全・安心な学校づくり交付金と公共投資臨時交付金を活用して完了済みであり、第Ⅱ期～Ⅲ期のうち大規模な地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高いと判断されたIs値0.3未満の建物については、安全・安心な学校づくり交付金ときめ細かな臨時交付金を活用して、21年度からの繰越事業として22年度中に完了した。</p> <p>22年度補正予算により着工したIs値0.3以上0.7未満の建物の補強工事についても、大曲小学校教室棟・第2体育館を除くすべての建物が完了している。</p>														
<p>4. 事業の費用対効果</p> <p>当事業で学校施設の耐震化を図ることにより、地震等の災害発生時に児童生徒の安全を確保することはもとより、防災計画に指定された地域住民の応急的な避難所としての役割を果たすという生命や財産、安心に投資する事業であり効果を費用に換算することはできない。</p>														
<p>5. 事業の将来負担等</p> <p>現行の耐震基準が改正されない限り当事業の将来負担は発生しない。</p>														
<p>6. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 25%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">99,225</td> <td style="text-align: center;">39,308</td> <td style="text-align: center;">56,900</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3,017</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	99,225	39,308	56,900		3,017
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
99,225	39,308	56,900		3,017										

事 業 説 明 書

(計画の体系) 芸術、文化の振興

10 款 5 項 2 目 12 事業
10 款 5 項 2 目 50 事業

新規 ・ 継続

課所名 生涯学習部生涯学習課

【事業名】 芸術文化振興費、生涯学習推進費負担金

【説明項目】 「ふるさと民謡めぐり」報償費、秋田おぼこ節・秋田おはら節・秋田飴売り節全国大会負担金

【予算額】

【23年度】 4,218 千円 **【22年度】** 4,218 千円 **【増減額】** 0 千円

1. 事業の目的

芸術文化の振興は、市民生活に潤いと生きがいを与えるために必要不可欠の要素であると考えられる。民謡は地域に根付いた文化であり、特に遠くへ出かけることの困難な高齢者に対して、民謡愛好者が出向いて民謡に触れる機会を提供することは、広範にわたる芸術文化の振興、生きがいづくりという意味でも必要不可欠である。

また、全国大会規模の民謡大会を開催することで、地域の伝統文化が継承され、県内はもとより全国に市がアピールされる絶好の機会となる。

2. 事業の目標

事業を通して、若手の指導・育成を行い、末永く民謡が継承される環境を整える。
(伝統文化の継承)

【目標数値】

	出場者数	観客数	(H22観客数)
ふるさと民謡めぐり		2,000人	(2,300人)
秋田おぼこ節	160人	850人	(805人)
秋田おはら節	80人	300人	(230人)
秋田飴売り節	80人	300人	(260人)

3. 事業の概要

◎出前民謡「ふるさと民謡めぐり」

大仙市民謡愛好会会員が中心となり実行委員会を組織し、市内8地域を巡回公演し、唄や踊りを披露している。

◎秋田おぼこ節全国大会

市と実行委員会が平成元年度から毎年開催している。

◎秋田おはら節全国大会

平成8年度から毎年開催している。

◎秋田飴売り節全国大会

平成20年度から開催しており、第3回大会の平成22年度からは、全国大会として開催している。

4. 事業の費用対効果

この事業を通して、市民に安らぎを与えていることは明確である。

また、若手民謡愛好者の出場も多く、後継者育成という面でも効果が大きいばかりでなく、大仙市を全国にPRする絶好の機会となっている。

5. 事業の将来負担等

観客数の増加による入場料の増額が図られれば、市の負担も軽減できる。

6. 財源内訳

(千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
4,218				4,218

事業説明書

(計画の体系) 生涯学習の推進

10 款 5 項 2 目 13 事業

新規 ・ **継続**

課所名 生涯学習部生涯学習課

【事業名】 放課後子ども教室推進事業費 【説明項目】 放課後子ども教室推進事業費について				
【予算額】 【23年度】 1,820 千円 【22年度】 2,121 千円 【増減額】 △ 301 千円				
1. 事業の目的 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、芸術文化活動、地域住民との交流活動の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境作りを推進する。				
2. 事業の目標 児童数が減少の一途をたどる中、参加人数の確保よりも多様な体験を重視する方向で実施する。 【目標数値】 体験プログラムの種類 12種類				
3. 事業の概要 放課後体験教室、休日体験教室、子どもの居場所運営委託。 国県1/3ずつの補助事業 <通年事業> ①わくわくスペース（昔話、紙芝居、朗読、読み聞かせ、ジュニア体操）放課後3時から ②わくわくスペース（囲碁教室）市内18小学校 ③おらだの体験学校委託事業（工作教室、昔の遊び教室、夏祭り等）仙北地域 ④出前古典暗唱教室（大曲朗読の会とタイアップ、各教室に暗唱の講師を派遣する） <期日指定事業> ①夏休み体験教室（農林振興課及び大曲農業高等学校と連携） ②秋の稔りフェアとタイアップした体験教室 ③冬休み体験教室 ④高校生ボランティアを活用した学習支援（学びい教室）の定期開催 ※大曲スポーツクラブとタイアップ ⑤大曲図書館と連携した教室の開催				
4. 事業の費用対効果 昨年度より減額となるが、学生ボランティアや他課所との連携により、多様な活動の種類が得られるため、費用対効果は増す。				
5. 事業の将来負担等 国の予算編成方針により左右されやすい。				
6. 財源内訳				
(千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,820	1,200			620

事 業 説 明 書

(計画の体系) 学校教育の充実

10 款 5 項 2 目 14 事業

新規 ・ 継続

課所名 生涯学習部生涯学習課

<p>【事業名】 学校支援地域本部事業費</p> <p>【説明項目】 学校支援地域本部事業費について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【23年度】 3,412 千円 【22年度】 8,636 千円 【増減額】 △ 5,224 千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>地域住民の教育力を学校教育に活用することにより、教員の負担を減らし子どもに向き合える時間を増やすとともに、より地域に開かれた学校づくりを進めることで、子どもに多様な教育を与える機会を増やすことを目的とする。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>地域本部設置校以外の小中学校でも事業を実施する。</p> <p>【目標数値】</p> <p>全中学校区での実施 12 中学校区</p>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>9 小中学校にコーディネーターを配置し、ボランティアと学校との窓口として活用する。</p> <p><各本部での事業></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域教育協議会の開催 2. ボランティアによる学習の補助 3. 校庭や敷地内などの環境整備 4. 登下校時の見守り 5. その他学校祭などイベント的事業の補助 <p><実行委員会での事業></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実行委員会の開催 2. 事業報告会の開催 3. コーディネーター間の連絡会開催 														
<p>4. 事業の費用対効果</p> <p>予算は昨年度の3割減となるが、全中学校区での実施が見込まれるため、費用対効果は大きい。</p>														
<p>5. 事業の将来負担等</p> <p>国県の予算編成方針に左右されやすいが、来年度から予算をコーディネーターに関わるものに絞り込むため、より低予算での実施が可能である。</p>														
<p>6. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 20%;">国県支出金</th> <th style="width: 20%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 25%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3,412</td> <td style="text-align: center;">1,672</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,740</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	3,412	1,672			1,740
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
3,412	1,672			1,740										

事業説明書

(計画の体系) 生涯学習の推進

10 款 5 項 4 目 13 事業

新規・**継続**

課所名 生涯学習部生涯学習課大曲図書館
(総合図書館)

【事業名】		親と子の夢を育む読書活動推進事業費 (光基金分)			
【説明項目】		親と子の夢を育む読書活動推進事業に係る経費について			
【予算額】					
【23年度】	21,934 千円	【22年度】	3,661 千円	【増減額】 18,273 千円	
1. 事業の目的 「大仙市親と子の夢を育む読書活動推進計画」に基づき、平成22年度から平成26年度までの5年間、子ども読書活動の充実と環境の整備に努め、子どもたちの読書に親しむ姿勢を後押しし、次世代を担う心豊かな子どもたちを育成します。					
2. 事業の目標 大仙市の子どもたちがあらゆる機会をとらえて、自主的に読書に親しむ習慣を身につけられるような環境づくりを進めるため、4項目の基本目標にそって読書活動を推進します。 1. 家庭・地域における読書活動の推進 2. 保育園・幼稚園における読書活動の推進 3. 学校における読書活動の推進 4. 図書館における読書活動の推進 【目標数値】 現在値 (H22年度) 目標値 (H23年度) 読書活動推進計画を推進するための24の施策 11 施策実施 20 施策実施					
3. 事業の概要 ○ブックスタート事業 (家庭・地域における読書活動の推進) 4か月児検診時に、赤ちゃんと保護者を対象に絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡します。 ○保育園・幼稚園における読書活動の推進 子どもたちの本への興味を持続させるため、絵本に興味を持った子どもたちが、機会を逃すことなく、絵本を自由に手にとることができるよう、各園の要望を取り入れて絵本の一層の充実を図ります。 ○学校における読書活動の推進 (小・中学校への支援) 一日の大部分の時間を学校で過ごす児童生徒にとって、学校図書館の存在や学校における読書活動の推進は、子どもたちの健やかな成長のために大きな役割を担っており、図書の実験を図ります。 ○公立図書館の図書の充実 児童書の計画的な整備と総合的な学習や調べ学習に対応できるよう図書の充実を図ります。 ○公立図書館と学校図書館の連携 子ども読書支援サポーターを配置し、幼保施設・小中学校を巡回し、子どもの読書活動に対する支援体制を強化し、読書活動の推進を図り、公立図書館と学校図書館が連携し読書活動を支援します。 事業費 ○ブックスタート事業 1,080千円 ○保育園・幼稚園における読書活動の推進 2,514千円 ○学校における読書活動の推進 9,100千円 ○公立図書館の充実 (書架含む) 5,957千円 ○公立図書館と学校図書館の連携 (賃金等) 2,935千円 ○その他 (旅費、消耗品等、備品、ボランティア保険) 348千円					
4. 事業の費用対効果 読書活動は、子どもにとって、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につける環境を作り上げる。					
5. 事業の将来負担等 ブックスタート事業は恒久的な位置づけとし、保育園・幼稚園・学校への支援については年次計画で対応。					
6. 財源内訳					
	予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
	21,934			21,934	

・住民生活に光をそそぐ基金繰入金 21,934千円

事 業 説 明 書

(計画の体系) 芸術、文化活動の振興

10 款 5 項 5 目 17 事業

新規 ・ 継続

課所名 生涯学習部生涯学習課大曲市民会館
(総合市民会館)

【事業名】 大仙市大曲新人音楽祭コンクール開催経費				
【説明項目】 新人音楽祭コンクール開催経費について				
【予算額】				
【23年度】	4,927 千円	【22年度】	0 千円	【増減額】 4,927 千円
1. 事業の目的				
<p>若い音楽家による演奏コンクールを実施し、将来性のある音楽家の発掘、育成を図ることにより、地方における音楽文化の振興と環境づくりに寄与することを目的として開催する。</p> <p>(1) 他の自主事業の鑑賞型事業と違い、参加普及型（コンクール形式）事業である。</p> <p>(2) 若い音楽家の質の高い演奏を市民に提供する。</p> <p>(3) 市民の自主的な活動による実行委員会で運営される。</p>				
2. 事業の目標				
<p>(1) 大仙市で開催することにより、市民自ら誇りに思えるまちづくりを進める。</p> <p>(2) 音楽を媒介した人と人との交流から、心豊かで温かい地域社会を実現していく。</p> <p>【目標数値】</p> <p>今後も「行政と市民との協働によるまちづくり」を推進し、入場料を無料として多くの方々から鑑賞していただくこととする。</p>				
3. 事業の概要				
(1) 会場	大曲市民会館大ホール、大曲市民会館小ホール（大曲中央公民館）			
(2) 開催日	平成24年1月14日（土）予選（ピアノ部門）（弦・管・打部門）（声楽部門） 1月15日（日）本選（全部門）			
(3) 出場資格	ピアノ部門――高校生以上30歳まで			(千円)
	弦・管・打部門――高校生以上30歳まで			報償費 3,095
	声楽部門――高校3年生以上35歳まで			旅費 7
(4) 審査員	日本を代表する高名な演奏家及び指導者（6名）			需用費 1,146
(5) 授賞	グランプリ1名（賞状・トロフィー・副賞30万円）			役務費 365
	優秀賞 2名（賞状・トロフィー・副賞10万円）			委託料 46
	奨励賞 3名（賞状・トロフィー・副賞5万円）			使用料及び 賃借料 268
(6) 参加料	10,000円			計 4,927
(7) 入場料	無料			
4. 事業の費用対効果				
<p>昨年、第7回大会で奨励賞を受賞した秋田市出身の羽川真介氏を招き、市内の4小学校を会場に「夢の先生音楽バージョン」を開催した。このことにより子どもたちに大きな夢や感動を与えるとともに、夢をかなえるために努力する大切さを教えていただいた。このように市民と音楽祭コンクールとの結びつきも深まっており、また、新たにキャッチコピーを募集するなど、市民の参加や関心も高まってきている。</p>				
5. 事業の将来負担等				
平成23年度から市の単独事業として実施するが、新たに大仙市市民会館等運営連絡協議会を設置し、企画立案に当たっては市民の参加を図りながら進めていく。				
6. 財源内訳				
(千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
4,927			660	4,267

・大仙市大曲新人音楽祭コンクール参加料 660千円

事 業 説 明 書

(計画の体系) 芸術、文化の振興

10 款 5 項 6 目 17 事業

新規 ・ 継続

課所名 生涯学習部文化財保護課
(文化財保護課)

<p>【事業名】 旧池田氏庭園整備事業費</p> <p>【説明項目】 旧池田氏庭園米蔵保存整備工事・外周部生垣及びメインアプローチ等修復整備他</p>				
<p>【予算額】</p> <p>【23年度】 65,060 千円 【22年度】 58,632 千円 【増減額】 6,428 千円</p>				
<p>1. 事業の目的</p> <p>旧池田氏庭園整備事業により国指定名勝「旧池田氏庭園」の景観を保持しながら、築庭当時の景観復元整備を行い、学術上・観賞上優れたこの庭園を往時の姿に甦らせるものです。東北3大地主と称された池田家は、在村地主として常に農業を基幹とした姿勢で地域の発展に寄与し、県内外の政治・経済・文化に大きな影響を与えてきました。庭園の整備により、庭園の価値を後世に伝えると共に、郷土を愛し、地域発展に尽力した池田家の精神をも伝承する事を目的として行うものです。</p>				
<p>2. 事業の目標</p> <p>国指定名勝「旧池田氏庭園」(平成16年指定・庭園として県内初の国名勝指定)は、学術的・鑑賞的価値の保存伝承を図るために、平成16年度から庭園整備事業が行われています。今後は、大仙市の文化財主要拠点として、他の文化財と連携して歴史散策コースの設定などを行い、先人の文化遺産を通して市民の文化意識の高揚と啓発を図りたいと考えております。</p> <p>【目標数値】</p> <p>旧池田氏庭園保存整備計画に基づき年次計画により実施 (文化庁協議のもと平成22年度策定)</p> <p>設定期間 平成16年～平成45年度(予定) 全体事業費1,000,000千円(文化庁承認) 平成22年度末 進捗率 約33.6% (335,500千円)</p>				
<p>3. 事業の概要</p> <p>旧池田氏庭園の建築物修復工事の一環として、現存する土蔵(米蔵・味噌蔵・内蔵三棟)のうち、米蔵と味噌蔵の修復工事を年次計画により実施し、あわせて旧米蔵付属屋を外観復元し公開活用のための便益施設(ガイダンス施設)を新築整備する計画です。米蔵味噌蔵修復に係る年次工期については、基本計画段階では四ヵ年程度の工期を計画しておりましたが、現在作成中の実施設計(H23.3完成予定)において、展示工事等の設計を含むなどのため、5年程度の工期を想定しております。</p> <p>平成23年度整備事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○米蔵保存整備工事(土壁・屋根解体・覆い屋等仮設工事) ○庭園修復工事(メインアプローチ等・仮設工事道路・外堀南部・生垣修復 整備工事他) 				
<p>4. 事業の費用対効果</p> <p>庭園の環境整備により、県内及び全国から観光客を誘客可能な大仙市内における数少ない文化的観光資源を創出することが可能となります。また、市民の憩いの場、催事開催、茶会等の文化的な生涯学習活動利用などのための多目的な活用創出できるなど、観光振興、地域振興、地域間交流の促進に大きな効果が期待できます。</p>				
<p>5. 事業の将来負担等</p> <p>整備地の荒廃防止と適切な維持管理、庭園部分の保護、環境整備地の有効活用(遊休地化防止)ほか適切な全般的管理が必要となります。</p>				
<p>6. 財源内訳</p>				
(千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
65,060	32,500	29,300		3,260

事業説明書

(計画の体系) 芸術、文化の振興

10款 5項 6目 21事業

新規・**継続**

課所名 生涯学習部文化財保護課
(文化財保護課)

<p>【事業名】 鈴木空如資料調査研究事業費</p> <p>【説明項目】 空如の画業の調査研究を通じた顕彰活動に要する経費について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【23年度】 30,971 千円 【22年度】 2,765 千円 【増減額】 28,206 千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>鈴木空如が仏画師としての40年近い活動を調査研究し、空如の画業を明らかにする。その調査結果や画業を市民の連帯感の醸成と文化財を活用したまちづくりを目指す。そのために資料性の高い生家に残る作品群と市に寄贈されている法隆寺金堂壁画模写を一括して管理する必要がある。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>①展示によるまちづくりを推進するために、空如の画業についての模写絵及び作品等の学術調査を行う。②生家に残る作品・資料群の市有化。③金堂壁画模写の表装修復を行う。④パンフレットの残部がゼロであり、パンフレットを印刷作成する。</p> <p style="text-align: center;">【目標数値】</p> <p>①展示関係：金堂壁画を概ね3年に1回、その他企画展は毎年開催。 ②市有化：約740点以上の作品・資料群の市有化 ③修復：金堂壁画模写の表装修復H23～26、4年継続)、修復点数 12点。 ④印刷：パンフレット、資料の作成</p>														
<p>3. 事業の概要</p> <p>鈴木空如作品が本市及び近隣市町村等にどれだけ保存されているのかを調査する。また、空如が模写した作品について調査し、模写の学術的価値付けを行う。文化財を活用したまちづくりを具現化するために、法隆寺金堂壁画12面模写と生家に残る貴重な資料群を市有化して一括した管理をするものである。</p> <p>【主な事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査旅費 391 千円 (専門指導調査員及び職員の調査費) ・印刷費 892 千円 (啓発用パンフレット2,000冊、展覧会チラシ3,000枚・ポスター200枚) ・空如作品等購入費 23,000 千円 ・金堂壁画模写表装修復 5,900 千円 														
<p>4. 事業の費用対効果</p> <p>経済的には、旧池田氏庭園の整備と整合性を図り、観光を視野にいたした作品の展示活用を行うことで、交流人口の増大による地域活性化につながる。市民の連帯感や文化の薫るまちづくりを醸成する効果があるソフト事業である。</p>														
<p>5. 事業の将来負担等</p> <p>修復は喫緊の課題であり、修復を行わなければ保管及び展示することが困難な状況となる。作品を散逸させずに活用する唯一の方法が市有化となる。なお、将来の企画展示においては展示の内容によって200千円～700千円程度の費用がともなう。</p>														
<p>6. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">30,971</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td style="text-align: center;">29,971</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	30,971			1,000	29,971
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
30,971			1,000	29,971										

・文化財保護助成金 (財団法人朝日新聞文化財団文化財保護助成金) 1,000千円

事業説明書

(計画の体系) スポーツ、レクリエーションの推進

10 款 6 項 1 目 13 事業

新規 ・ (継続)

課所名 生涯学習部スポーツ振興課

<p>【事業名】 全県500歳・550歳野球大会関係費</p> <p>【説明項目】 全県500歳野球大会及び全県550歳野球大会の開催について</p>														
<p>【予算額】</p> <p>【23年度】 2,425千円 【22年度】 2,882千円 【増減額】 △457千円</p>														
<p>1. 事業の目的</p> <p>「一生 スポーツ 一生 健康」のキャッチフレーズのもと、500歳・550歳野球大会に参加することにより、多くのこよなく野球を愛する熟年世代の心身の健康増進に寄与する。併せて、地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域活性化を図ることを目的とする。</p>														
<p>2. 事業の目標</p> <p>毎年、オールドプレーヤー達の熱戦が繰り広げられ、特に500歳野球大会は歴史と権威があり、172チーム、4,300人を超える全国でも希な一大野球イベントに成長している。今後も更に充実した大会運営を目指し、運営に万全を期すため増設した会場設備等の充実を図る。</p> <p>【目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全県500歳野球大会参加チーム(174チーム)第33回 ・全県550歳野球大会参加チーム(32チーム)第20回記念大会 														
<p>3. 事業の概要</p> <p>平成21年度から、全県500歳野球大会と全県550歳野球大会を一元的に実施していくための実行委員会を再編し、会場を全市に拡大している。</p> <p>平成23年度の事業概要については次のとおり。</p> <p>【全県550歳野球大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽選会 平成23年6月中旬 ※秋田魁新報本社 ・大会日程 平成23年7月30日(土)～8月1日(月) ※予備日(8月2日) ・会場 1. 南外山村運動広場(主会場)、ほか3会場 (全4会場) <p>【全県500歳野球大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抽選会 平成23年8月上旬 ※秋田市文化会館 ・大会日程 平成23年9月17日(土)～21日(水) ※予備日(9月22日) ・会場 1. 神岡野球場(主会場)、2. 大曲球場、3. サン・スポーツランド協和野球場 4. 八乙女球場、ほか14会場 (全18会場) 														
<p>4. 事業の費用対効果</p> <p>「高齢者が楽しみながら健康づくり」を合い言葉の下、雪解けと同時に練習試合や交流戦が行われており、高齢者の健康づくりの一役を担っている。</p>														
<p>5. 事業の将来負担等</p> <p>ここ数年は、会場設備の充実を図るため横ばいの負担が想定されますが、平成30年頃を目途に約500千円減の2,000千円程度の負担額を目標とする。</p>														
<p>6. 財源内訳</p> <p style="text-align: right;">(千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">予算額</th> <th style="width: 25%;">国県支出金</th> <th style="width: 25%;">市債</th> <th style="width: 20%;">その他</th> <th style="width: 15%;">一般財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">2,425</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">2,425</td> </tr> </tbody> </table>					予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源	2,425				2,425
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源										
2,425				2,425										

事 業 説 明 書

(計画の体系) スポーツ、レクリエーションの推進

10 款 6 項 1 目 16 事業

新規 ・ 継続

課所名 生涯学習部スポーツ振興課

【事業名】 平成23年度インターハイ開催推進事業費 【説明項目】 全国高等学校総合体育大会実行委員会負担金について				
【予算額】 【23年度】 21,125 千円 【22年度】 619 千円 【増減額】 20,506 千円				
1. 事業の目的 全国高等学校総合体育大会は、高等学校教育の一環として、高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図ると共に、高校生相互の親睦を深め、心身共に健全な青少年を育成することを目的とする。 この大会を本市で開催することは、高校生の体育・スポーツの振興はもとより、生涯スポーツの充実を目指す本市にとっては誠に意義深いものであるとともに、地域スポーツの振興と地域経済活性化を促進し市勢発展に資するものである。				
2. 事業の目標 平成23年度全国高等学校総合体育大会は、北東北3県（秋田、青森、岩手）で開催し、これまで培ってきた3県による広域連携を一層推進し、より強いパートナーシップを構築して東北全体の活力につなげるとともに、大会における高校生の積極的な活動を通して、北東北の次代を担う人材の育成に資することを目標とし、平成23年度本市において開催されるなぎなた競技の運営に万全を期するために準備推進事業を実施する。 【目標数値】 全国トップレベルの競技大会であり、少しでも多くの市民が観戦する機会を提供できるようPR等を含め啓発に努める。				
3. 事業の概要 平成23年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技大会 期日 平成23年8月17日（水）から8月19日（金）の3日間 会場 大仙市ふれあい体育館（練習会場 大曲体育館、大曲高校体育館、仙北中学校体育館） 規模 監督・選手 約500名、競技・運営役員 競技・運営補助員 約450名 来場者 3日間 約4,000名				
4. 事業の費用対効果 大会関係者や選手・監督、応援の父兄等は大仙市内へ宿泊。それにより消費される飲食経費等の経済効果が期待される。また、市民が全国トップレベルの競技大会を観戦することにより、競技底辺の拡大、競技力の向上、「みる」スポーツへの関心を高める効果があると考えられる。 更には、全国高等学校総合体育大会は、高校生スポーツの頂点を決める注目度の高い大会であり、報道等により大仙市の名前も全国に発信される宣伝効果もある。				
5. 事業の将来負担等 単年度事業				
6. 財源内訳				
(千円)				
予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
21,125	9,608		4,832	6,685